

(一財) 松本ものづくり産業支援センター

NEWS

ものづくり産業支援の
ワンストップサービスを
目指します

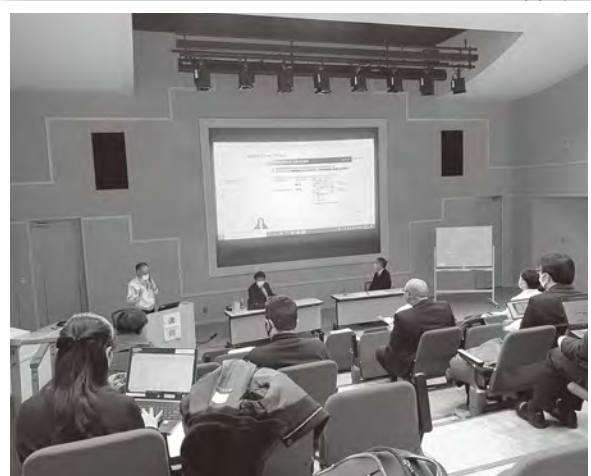
第8号

令和4年2月発行

R3.11.17 今井小学校5年生工場見学



R3.12.13 自動化の設備導入の勘どころセミナー



R3.9.28 松本の街をアップデートするには？



R3.12.4
U30で考える、これからの社会に求められる“IT人材”ってどんな人？

目次

1 活動トピックス

ものづくり支援担当 3～8P

杉本 守 アドバイザー

豊口 稔 コーディネーター

広橋 修 コーディネーター

相吉 一浩 コーディネーター

ICT支援担当 9～10P

野尻 和彦 コーディネーター

2 サザンガクからのお知らせ 11～12P

3 活動報告 13P

4 募集！メルマガ会員 14P

5 補助金・講習会のご案内 15P

ものづくり支援担当

■ 杉本 守 アドバイザー

中信地域自動化推進ネットワークの活動紹介

このネットワークは松本地域の支援機関が広域連携し、ものづくり中小企業の自動化を支援する連携体です。

①工程改善セミナー（導入編） 7月12日、7月16日

②からくりセミナー&デモ

8月に開催予定でしたが、コロナ禍のなか中止とし、個別企業でのデモとなりました。

③キックオフ

9月10日に中信地域自動化推進ネットワークのキックオフをオンラインで行いました。キックオフ時は9社の参加で3部会の内、導入部会は5社、自立化部会は1社、SIer部会は3社となりました。その後SIer部会に1社入会され全体で10社となっています。

④関東経済産業局と松本市との連携協定に基づき、重点産業である産業用機械分野で2つの事業を共催で行いました。

・中小機構アドバイザーによる「自動化の設備導入の勘所セミナー」

12月13日 ネットワークメンバー限定 8社10名参加

・中小機構アドバイザーによる「生産工程スマート化診断」 2社進行中

補助金申請を通じた
事業計画策定により経営力向上支援
松本市製造業等活性化支援事業助成金
2件採択、支援中
ものづくり補助金6次
1件 申請支援、採択
ものづくり補助金8次
1件 申請支援、採択



自動化の設備導入の勘所セミナー

自動化にご興味がある企業の皆様

当中信地域自動化推進ネットワークへのご参加はいつでも受け付けております。
ご興味がある方は当支援センターまでお問い合わせください。
趣旨等ご説明に伺います。

豊口 稔 コーディネーター

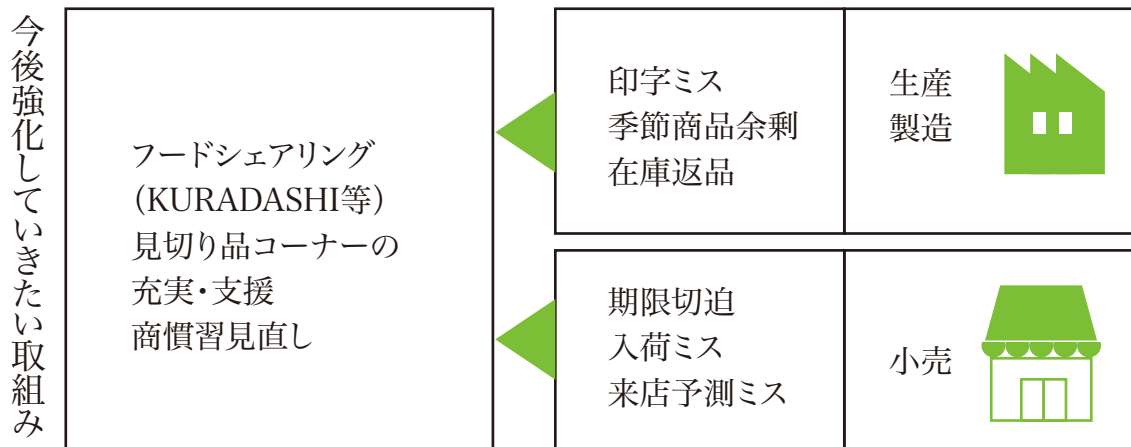
食料品製造業の重点的な推進について

●ゼロカーボンアクション30より抜粋



食品ロスをなくそう！

松本市では「KURADASHI」と連携協定を結び、食品ロス削減を進めております。
※KURADASHIは食品ロス削減の専門ECサイトです。



3R（リデュース、リユース、リサイクル）

「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和4年4月から施行されます。

【製造・販売事業者等による自主回収】

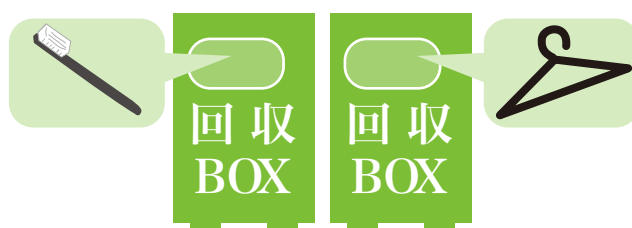
製造・販売事業者等が製品等を自主回収・再資源化する計画を作成する。

主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の業許可が不要に。

【排出事業者の排出抑制・再資源化】

排出事業者が排出抑制や再資源化等の取り組むべき判断基準を策定する。

主務大臣の指導・助言、プラスチックを多く排出する事業者への勧告・公表・命令を措置する。



店頭回収等を促進

排出事業者等が再資源化計画を作成する。

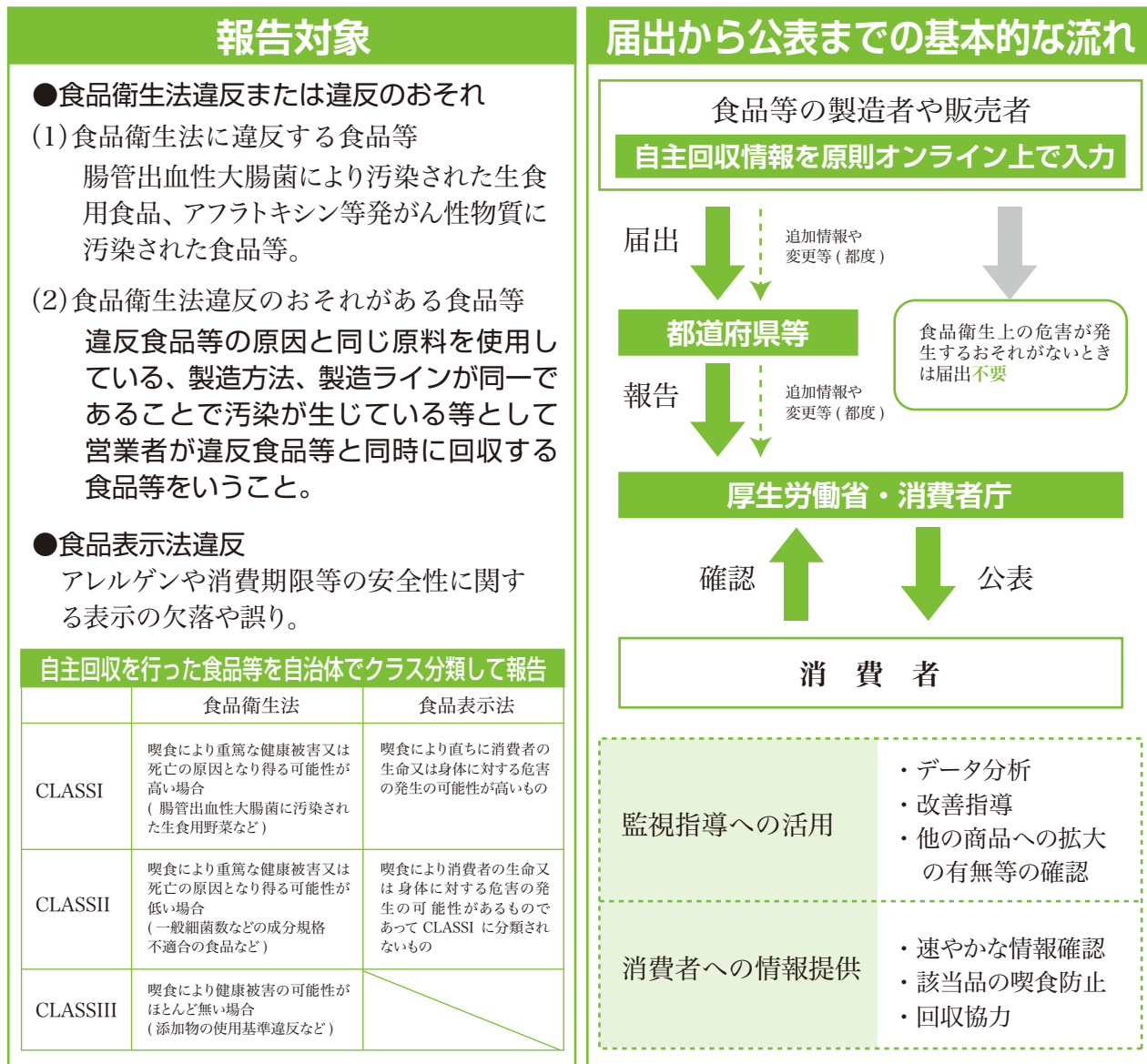
主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の業許可が不要に。

※詳細についてはお問合せください

●食品衛生法関連

- ・食品等のリコール情報の報告制度の創設

令和3年6月1日から、食品等の自主回収を行った場合の届出が義務化されました！



【報告対象から適用が除外される場合】

食品衛生上の危害が発生するおそれがない場合として厚生労働省令・内閣府令で定めるとき

- 当該食品等が不特定かつ多数の者に対して販売されたものでなく、容易に回収できることが明らかな場合

(例) 地域の催事で販売された焼きそばについて、催事場内での告知等で容易に回収が可能な場合 等

- 当該食品等を消費者が飲食の用に供しないことが明らかな場合

(例) ・食品等が営業者間の取引に留まっており、卸売業者の倉庫に保管されている場合

・食品等が消費期限又は賞味期限を超過している場合 等

広橋 修 コーディネーター

まつもと5Sプロジェクト（松本商工会議所共催）

本プロジェクトは本年度で6年目を迎えました。

5S活動は経営者や従業員の意識改革、企業の事業基盤固め、創造性豊かな人づくりを目的としてスタートしました。

当初から県登録専門家の平井勝則氏のご指導により推進し、今までに15社が参画されました。

多くの企業が銅賞以上の賞を取得後に卒業されており、現在の参画企業は6社です。

各種改善活動のベースとなるのが5Sです。多くの事業所へのご参加を募集しています。



第5期 次世代現場リーダー研究会（松本機械金属工業会主催）

本年度で5期目となる次世代現場リーダー研究会は9月スタートで計画しました。

しかし、コロナ感染症第5波と重なったため本年度の開催を断念し、次年度に延期しました。（令和4年5月キックオフ予定）

次年度は今までよりも若い人にも参加していただけるように見直しを行う予定です。

写真は令和3年5月に終了した第4期の次世代現場リーダー研究会の様子です。

第4期から工場見学後の気づきのグループディスカッションにより、改善・コミュニケーション能力のレベルアップを図りました。



相吉 一浩 コーディネーター

「工程改善セミナー（導入編）」開催（中信地域自動化推進ネットワーク主催）

●7/12（月）会場参加者：9名

●7/16（金）会場参加者：12名、オンライン参加者：11名

コロナ禍での開催ということもあり、リアル開催と平行して、オンライン開催を初めて組み合わせ実施しました。

慣れない事が多々ある中で、参加者皆さまの協力により、無事に開催が実現できました。

今回は概要の紹介といった内容であった為、紹介内容の幅が広く、それに対して時間が短かった為に、理解し難い部分があったようでしたが、それでも、気づきや各社それぞれの課題を持って頂く事には成功したのでは無いかと思われます。

また、各社の改善活動については、2極化傾向が鮮明になっており、全く改善活動をしていない会社もあれば、その逆もありで、それぞれの会社の姿勢・特徴が見えてきたセミナーとなりました。

令和4年3月頃には、工程改善セミナー(実践編)を企画して、より実践的な内容をお伝えしていく予定です。



D社向け「監督者研修」開催

●9/22 (水) 参加者: 班長クラス15名+社長、総務部の皆さま

今回の研修の狙いは、“各自の職場運営・管理を見直し、改善活動に役立てること”であったが、非常に繁忙な状態が続いている中で、ギリギリの体制で回していました。そのため部下の育成に関しては、仕事優先でそこまで手が回っていないメンバーがいたり、組織としての一体感が足りないと感じているメンバーが多かったので、チームビルディング研修やコンセンサストレーニングと言った内容をメインに組み込んで、研修内容を用意しました。

◇実施内容のポイントは以下の通り

a) リーダーシップとマネジメントについて考える

右に示すような設問を計16問投げかけ、“○×”で解答し、その理由を皆で考えながら進めます。

監督者としての役割と心構え

リーダーシップとマネジメント

E&E

第1問

リーダーは率先垂範することが、一番大事である

×

◇率先垂範は、有効な手段のひとつ

◇メンバー一人ひとりに役割を与え、期待を示し、やり方は本人に任せる方法もあり（権限移譲）
⇒ この場合のリーダーは支援役

b) ヘリウムリングにてコミュニケーションやチームワークを考える

3チームの対抗戦を行います。右に示すようなリングを腰の高さから床まで早く降ろすことを競います。

気持ちがひとつにならないと、勝手に上へ上がってしまうところが面白い。



c) コンセンサスゲームにて、合意形成の難しさを体感する

NASAが開発したゲームが基になって、いろいろなゲームがあるが、今回は「砂漠からの脱出」というテーマにて実施した。

全体を通して研修がゲーム感覚で行われたため、「普段社内で会話がなかった社員と会話ができた」「素の自分を出して、考えて行動できた」といった感想が寄せられ、職場運営では「大変参考になった」と大変好評であった。

ICT支援担当から

野尻 和彦 コーディネーター

地域中小企業データ活用BootTest事業

～中小企業も DX に取り組もう！～

当事業は、関東経済産業局と松本市との包括連携の覚書を締結したことに伴い始まった、デジタルワーキンググループとしての支援事業の一環で、「地域中小企業DX人材育成事業・データ活用BootTest」と銘打って、令和3年8月から令和4年3月までの8ヶ月にわたり、データ活用の専門家企業「株式会社クニエ」のデータアナリスト、コンサルタントなどから中小企業が指導を受けることができる事業です。

これは、地域の中小企業がデータ活用の手法等を学ぶことのみならず、我々、支援機関もこの機会にデータ活用の手法を取得して、今後は主体的に地元中小企業の支援にいかしていくという目標も兼ねています。

社会全体のデジタル化が推し進められている現在、ビジネスの分野においても、デジタル化による様々なデータの取得・連携・活用により、ビジネスプロセスの最適化やオペレーションの効率化、見える化を実現することが求められています。



地域企業におけるデータ活用促進の必要性（講習資料より抜粋）

- 地域企業の「稼ぐ力(付加価値生産性)」の向上のためには、デジタル技術の活用による業務等の効率化の推進はもとより、AI、ロボット等の先進技術を駆使しつつ、デジタル化による様々なデータの取得・連携・活用により、ビジネスプロセスの最適化やオペレーションの効率化を実現するデジタル・トランスフォーメーション(DX)へ向けた取組が求められている。
- しかし、地域の中堅・中小企業においては、データを活用し、製品・サービスの開発やビジネスモデルの変革まで取り組んでいる企業は少なく、「データ活用の必要性」を認識した上で、自社の保有データや市場データを有効に活用できる企業を、地域において創出していくことが必要。

当初は、一同に集まっての集合研修や活動報告会が計画されていましたが、コロナ禍の制限により、これまで開催された第8回まではリモート会議の仕組みを使つての研修・講習と発表会が行われました。コロナ感染者数の状況を見ながら、11月中旬には担当者同士が直接面会して、個別相談会・工場見学等を行うこともできました。

データ活用ブートキャンプ講習は、3つのステップに分かれて、

Step1

DXに関する知見や情報の提供、データ活用やデータドリブン経営に関する知見や情報の提供

Step2

「活動計画書」の作成と発表会

Step3

「活動報告書」の作成・実証実験・発表会
という手順で進められます。

「活動計画書」は、ワークシート方式になっており、「全体像の理解」(テーマ、あるべき姿、現状とのギャップ、解決策)などを手順に従って記入していくと

- ①分析すべきデータ
- ②可視化対象データ
- ③手順
- ④タスク(事前準備や社内調整など)
- ⑤スケジュール

などが、もれなく進められるような形式となっています。

各講習においては、事例研究として

- ①ウェブマーケティング施策実施・成果分析
- ②販売情報分析
- ③従業員スキルマネジメント
- ④製造業における時系列データの分析や異常検知・
変化検知などの説明があり、また、分析の手法として
- ⑤グラフの活用
- ⑥Excelのピボットテーブルの活用、PowerBI
などのBIツールの活用
などの説明がありました。

12月初旬に始まったStep3からは、参加企業は、より正確な現状データを取得するために、手動での計測を行ったり、他部署との連携により必要データを取得してシミュレーションをしてみたり、それぞれ工夫をしながら、必要な分析・見える化を行っています。

適切なツールを探すとしても最初から大上段にBIツールからというふうには考えず、Excelにもグラフやピボットツール、統計用の関数など用意されているので、それをまず使ってみるということも必要と思われます。

当センターでは、引き続き地域企業の皆さまのデータ活用について支援して参ります。まずはお問い合わせください。

サザンガクからのお知らせ



サザンガクは、多くの方のご支援により2021年11月に開設2年を迎えました。新型コロナウイルスの影響を受けつつも、コワーキングスペースの利用も増加するなど、サザンガク全体の認知度も上がってきています。

コワーキングスペース

月額利用のメンバーは、開設当初から延べ20人を登録しました。多様なメンバーの中には移住者も多く、「首都圏の企業に所属しながら松本で暮らし、働く」という人もいます。今後も様々な方にご利用いただき、活動の拠点としていただけるよう、快適な環境整備に努めてまいります。



7月9日「地域に優しい交通のあり方とは？」松本市交通部との共催



12月22日「未来の地域医療ワークショップ」(関東経済産業局等との共催)

また、サザンガクをより多くの方に知っていただくため、各種イベントも開催しています。7月は「交通」、9月は「まちづくり」、12月は「IT人材」や「地域医療」等をテーマにワークショップを実施し、学生から社会人まで幅広い層の参加がありました。これからは多彩なイベントを企画・開催することで、サザンガクをPRしてまいりたいと考えています。

サテライトオフィス

個人向け8区画、複数人向け8区画を備えるサテライトオフィスは、2021年12月をもって全区画が満室となりました。サザンガクでは、こうした入居企業の皆様をインタビュー形式で詳しくご紹介する「33 GAKUマガジン」を開始しました。各社の事業内容だけでなく、今後のビジョンや担当者の思いまでお伝えする内容となっていますので、ぜひご覧ください。

また、入居企業による新規事業も生まれています。個人向け区画に入居しているXYZ(クロスワイゼット)株式会社は、7月に3人制のプロバスケットボールチーム「信州松本DYNA BLACKX(ダイナブラックス)」を設立し、コワーキングスペースで記者発表を行いました。今後もサザンガクを拠点に様々な事業が生まれるよう、できる限りのサポートをしてまいります。



33GAKUマガジン
(https://note.com/33gaku_note)



7月28日にサザンガクで行われた記者発表

テレワークオフィス

「必要な時に、必要な分だけ人手が欲しい」、「体制変更・人事異動に伴い業務整理が必要」など、人手不足でお困りの企業をご支援するため、サザンガクではテレワークオフィスを運営しています。

プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
業務の内容に応じて専任のディレクターが人材を適切に配置
テレワーカーはこれまでに延べ100名以上を登録
小さな業務でも、まずはお気軽にご相談ください。

お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号
電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

支援活動の報告

「次世代の工業界の担い手育成に」松本工業高等学校に工具贈呈

松本地域の工業団体やものづくりの工業団体で構成される「松本地域工業高校支援連絡会」は、11月25日次世代の工業界の担い手育成を目的に、長野県松本工業高等学校へ、金属加工などに用いる工具等を寄贈しました。

学校からの支援要請に基づく機械類や工具で、昨年に引き続き今回で11回目の寄贈となりました。支援連絡会では、地域のものづくりの一層の発展を願って、高校生のうちから力を養い、地元で活躍できるよう松本地域の工業高校の支援に今後も継続的に取り組んでまいります。



今井小学校5年生が工場見学しました。 (株)タカノ (株)デリカ

松本臨空工業団地管理組合にご協力いただき、今年も11月17日今井小学校5年生32名が日本の工業について学習する中で、(株)タカノと(株)デリカの工場見学を行いました。

身近な工業団地2社の見学を通して、工業生産に携わる人々にふれて人々の努力や思い、「ものづくり」の仕組みや工夫を学びました。

(株)タカノでは、ドイツ製パンチ・レーザー複合機の金属加工技術や、国内に数台しかない金属3Dプリンターで複雑な3次元形状の製品が造形される様子を興味深く見学しました。(株)デリカでは、工作機械や溶接などの農業機械製造の様子を見学し、完成した大きな農業機械が実際に動くところを驚きながら見ていました。また、電動アシスト四輪自転車「けんきゃくん」の試乗体験などがあり、子どもたちも楽しみながら学びました。



(株)タカノでの見学の様子



(株)デリカでの見学・試乗体験の様子

メルマガ会員募集！

松本ものづくり産業支援センターでは、地域製造業の皆様へ産業支援に係る各種情報を配信する「メールマガジン」を運営しております。

インターネットを通じた情報発信・収集が主流となった今日、必要な情報を得るためには大量の情報データから探し出す必要があります。

当「メールマガジン」では、国・県・市や大学、産業支援機関から発信される各種情報を整理し、e-mailにより直接企業の担当者の方へ配信いたします。

どうぞ、ご活用下さい。

配信する情報の一例

- 国や県の補助金等の公募情報
- 市や商工会議所の支援メニュー、補助金等の情報
- 人材育成に関する研修会・講習会等の情報
- 講演会、イベント等の情報
- 展示会等の開催情報



◆お問い合わせ◆

松本ものづくり産業支援センター（ICT担当：野尻 info@m-isc.jp）

TEL:0263-40-1000 FAX:0263-40-1001

松本ものづくり産業支援センター「メールマガジン」配信申込書

企業名				
住 所	〒			
担当者	役 職			
	氏 名			
	e-mail			
	T E L		F A X	

※いただいたE-mailアドレスの他、個人情報とは、本メールマガジンの配信、及び、松本ものづくり産業支援センターからの連絡にのみ使用し、他の用途では使用いたしません。

※申し込みは、FAX.0263-40-1001（松本ものづくり産業支援センター）、または、e-mail添付で info@m-isc.jp までご返送下さい。

※まつもと工業支援センターのメールマガジンに登録されていた方も、ご面倒でも再度の登録をお願いいたします。

補助金・講習会のご案内

小規模事業者持続化補助金（一般型、第7回）

本補助金事業は、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者等の地道な販路開拓等の取組や、あわせて行う業務効率化の取組を支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。計画書の作成に際しては、商工会議所の経営指導員等が支援をしています。

- 補助金額／上限50万円（2/3補助）
- 補助対象者／商工会議所の管轄地域内で事業を営んでいる「小規模事業者」等
- 対象事業／「経営計画」に基づき、商工会議所の支援を受けながら実施する、地道な販路開拓等（生産性向上）、或いは販路開拓等の取組とあわせて行う業務効率化（生産性向上）のための取組。
- 受付締切日／2022年2月4日（金）当日消印有効

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（第9次）

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

- 補助金額／一般型：1,000万円・グローバル展開型：3,000万円
- 補助対象者／以下の要件を満たす事業計画（3～5年）を策定し実施する中小企業・小規模事業者等であること。
 - ①付加価値額の年率3%以上向上
 - ②給与支給総額の年率1.5%以上向上
 - ③事業場内最低賃金を地域別最低賃金30円以上向上
- 補助率／一般型、グローバル展開型：中小企業1/2、小規模事業者等2/3
- 受付締切日／2022年2月8日（火）

新入社員教育講座

2022年度、新入社員を迎える事業所の皆様へ！

- 日時／2022年3月23日（水）、24日（木）、25日（金）（予定）
- 場所／松本商工会館
- その他／詳細は、決まり次第、松本商工会議所ホームページにてご案内いたします。

2022新社会人激励のつどい

- 開催日時／2022年4月8日（金）14:00～16:30
 - 会場／まつもと市民芸術館
 - 内容／記念式典、講演会、アトラクション（参加無料）
 - 対象者／松本市内の事業所に就職予定の方
- ※詳細は決まり次第松本商工会議所ホームページにてご案内いたします。

